

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	621 事務管理経費	会計	01	一般会計
		款	06	農林業費
		項	01	農業費
基本 施策	42 持続的で個性的な農業を實踐する	目	02	農業総経費
		細目	280	事務管理経費
行革大綱の重点事項番号		4	細々目	01 事務管理経費
担当部署	コード	191300		担当者
	名称	産業建設部 農村整備課	氏名	岡本隆雄
		連絡先	43 - 2304 (内線) 360	

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	① 農業用揚水機場、排水樋門 ② 保険に加入する農道及び林道	※対象件数
成果(どうする)	① 定期的なメンテナンスが進み非常時の操作に備える事ができる。 ② 不慮の事故等に対し救済が出来る。	
根拠法令・要綱等	河川法	
開始年度/平成	年度	関連事業
終了年度/平成	年度	
事業内容	H21 排水樋門の管理委託 2ヶ所 農道・林道保険加入 L=555km 農道管理協議会加入継続 農民憩いの部屋借上げ 1部屋 河川古用箇所草刈業務 3ヶ所 コミュニティ助成事業(外山諏訪グラウンド整備)	
社会情勢 の変化等	広域農道及び農免農道については、工事の進捗に伴い三重県からの管理移管が増加している。 上野産業会館借室料「農民憩いの部屋借上げ」は、平成22年度で終了する。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値		
			H20	H21	H22	H23	
農道及び林道の管理延長	km		目標	555	560	558	560
			実績	555	558		
管理する排水樋門の数	ヶ所		目標	2	2	2	2
			実績	2	2		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
樋門の定期点検操作、非常操作回数	年間	樋門操作回数	回	目標	20	20	17
				実績	18	18	
				目標			
				実績			

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	3,697	5,175	3,190	2,812				
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	98	0						
一般財源	3,599	5,175	3,190	2,812				
事業投入人件費(B)	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720	720	
フルコスト(A)+(B)	4,417	5,895	3,910	3,532				

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
有効性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	農道・林道において、事故等が発生した場合の救済措置として保険加入。	○
	河川の増水や耕地の冠水等の非常時に利用する排水樋門の操作点検が必要。	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合は、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
効率性	予算の繰越の有無	無
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	揚水機場、樋門等の通常点検は消防団、施設周辺草刈は地元水利関係者、農道等は通過地区自治会へ作業委託することで、経費削減に努めている。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	農道等の草刈を自治会委託できたので、経費を削減できた。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	山内 敏
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	揚排水機場、樋門、農道は農業の基礎的施設であって、その適切な維持管理を継続することは施設の保全と修繕コストの軽減に繋がる。
現時点における課題、その他	自治会への草刈作業委託は担い手不足により困難となりつつある。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	平成22年9月までに自治会委託が困難になった箇所は、シルバー人材センター委託に切り替える。